



性善金書

六五

3198  
1



ハ13  
3198  
15

五  
十

怪談全書卷目錄

一之卷

- 望帝バツタイ
- 王饨ワツツン
- 淳干禁チンカン
- 偃王エンワ
- 馬頭娘バトウメ

- 詰汾キツペン
- 伍子胥ゴシキョ
- 呂球リョキウ
- 韋叔堅ワイシケン
- 韓朋カンペウ



特  
へ13  
3198  
1

○元緒ゲンシヨ

二之卷

○李瑄リケン

○張守一チウシウイチ

○潤玉ジュンギク

○魚服イサフク

○歐陽紇ウヤウキョク

○欵客ケンキヤク

○姚生ヤウセイ

○中山狼チュウサンロウ

三之卷

○袁氏エンシ

○聶隱娘ネンインニョウ

四之卷

○郭元振クワクワンジン

○賴省幹ライシヤウカン

○陰摩羅鬼インマラキ

○蚍蜉ヒヒウ

○張遵言チウジュンゴン

○侯元クウゲン

○玉真娘子ギョクシンニョウジ

○金鳳釵キンホウサシ

五之卷

昭和九年  
十月三日  
印

○三娘子  
○巴西侯

○薛昭

怪談全書目錄終

怪談全書卷之一

望帝 前書已有之 不及再書

林道春

望令ト云モノ荆國ノ人ナリ。死シテ其屍ナカレテ江  
水ニウカビ。又人トナリテ蜀ノ國ヘユク。蜀ノ王望帝  
ニマミユ。直人ニアラザレバ望帝位ヲユヅリテ。望令  
ヲ宰相トシテ。ヤガテ王トシテ望帝ノガレユク。死後  
ニ化シテ鳥トナル。其名ヲ杜宇トシ又杜鵑ト號ス。杜  
鵑子ヲウムトキ諸鳥ミナ其子ヲカフ。是ハムカシ  
ノ王ノ魂ナリトテ。ウヤマヒアハレム故ナリ。或ハ杜

鶻已カ卵ヲ諸鳥ノ巢ノ内ニ入テカハレムトモ云リ。  
蜀王本記ト云文ニミヘタリ。倭歌ニ鶻ノカイコノ中  
ノホト、ギストヨメルモコノ事ニヤ

詰汾

柘跋詰汾ハ北方ノエヒスナリ。山澤へ出テカリヲス  
ル時天一ノ車ノ下ルヲ見レバ。ミメヨキ女アリミツ  
カラ天女也ト云テ。詰汾トアフテカタル。翌日天女云  
ケルハ我ハ天命ヲウケテキタレリ。明年一メグリノ  
時再會スベシトテ。相別テユク詰汾約束ノゴトク又

サキノ所へ行テカリス。彼天女アマクダリテ。一人ノ  
男子ヲアタヘテ是君ノ子也。子孫代々帝王トナルベ  
シト云テハリテ去。其行方ヲレラズ此男子ツ井ニ王  
トナリテ。神元皇帝ト號ス故ニ世ニイヒ傳ヘケルハ。  
詰汾皇帝ニハ。レウトナシ。神元皇帝ニハ母方ナシト  
ロツサメリ。古今メツラレキコトナリ。此神元皇帝ヲ  
魏ノ王ノハジメトス。天下ヲニニワケテ江南ヲ南朝  
トシ。江北ヲ北朝トス北朝ノハジメハ北魏ナリ。北魏  
代々王トナリテ十二代ツバキ。百五十年ノ間國ヲタ

モテリ 後魏書ニモ地  
史ニモアリ

王恠

後漢ノ王恠ト云人或時ニ京ヘノボリケル路次ノ旅  
宿人ナキ所ニトマリケルガ。一人病ニ臥ル者アルヲ  
見テ甚アハレミケレバ。病人ノ云ヤウハワガ命片時  
ノ間ナリ。腰ニ若干ノ金アリ與フベシ。ヨキヤウニト  
リヲキ給ヘトアリシカバ。王恠イヨクアハレト思フ。  
彼病人死ス王恠其金ヲワケテヨク葬リ。相殘ル金ヲ  
棺ノ下ニオサメテオク。コレヲシル人ナシ。王恠後ニ

亭ノ長トナリテ行トキニ。夕チマチ馬一疋ハ世來テ。  
亭ノ中ニ人其日大風吹テ一ノ綉被ヲオトス。王恠ア  
ヤレミテ其所ノ守護ニ申ス。守護コレヲ王恠ニアタ  
フ其馬ニノリテ京ヘ到ル。其宿ノ主人見テ此馬イツ  
クヨリ來ルヤト、ヒケレバ。王恠馬并綉被ノ事ヲツ  
ゲクワレク彼病人ノコトヲカタリケレバ。主人コレ  
ヲキ、テ是奇特ノ事ナリ。君陰德アリテカ、ル事ア  
ル也。カノ病人ハ我子金彦ト云モノナリ。我レラズレ  
テ恩ラムクヒズ。天ヨリ君カ陰德ヲアラハスナリト

云フ。王<sup>ワ</sup>掩<sup>エン</sup>コレニヨリテ名<sup>ナ</sup>ヲアゲ官<sup>クワン</sup>位<sup>イ</sup>ニノホル

後漢

書ニアリ

伍子胥

此亦有前書不可再書也

伍子胥ハ吳王夫差ノ臣也。吳越合戰アリテ越王ヲイケドル。越王ノ臣范蠡サマクノ謀ヲメグラレケレバ。吳王ツ井ニ越王ヲユルス。伍子胥諫レドモキカズ。越王本國ニ歸リ。西施ト云美女ヲス、ム吳王是ヲ愛シテ政ヲコタレバ。伍子胥又イサム吳王キカズレテイヨクマドイテ醉ルガ如シ。伍子胥シキリニイサム吳

王イカリテ伍子胥ヲ殺シ。鳴夷ト云皮ブクロニ入テ水ニシヅム。其靈果シテ水神トナル。其レヅメラル、處ハ錢塘ト云江ニテ。毎年八月大ナル潮ノサス所ナリ。其時伍子胥形ヲアラハシ白馬素車ニノリテ水上ニウカビ出コレヲ見ルモノ皆オドロカズト云コトナシ。伍子胥出レハ潮甚急ニナミタカフシテ堤ヲヤブリ岸ヲクツス一多レコレニヨリテ伍子胥ヲ英烈君ト號テ祭ナリ。其岸ノ上ニ廟ヲ立伍子胥死テ後越ヨリ終ニ吳ヲホロボス

吳越春秋 并方輿勝覽ニニハタリ

淳于棼

唐ノ淳于棼ガ家ノ南ニフルキ槐樹アリ。棼其木ノ本  
ニテ友人ト酒ヲ飲テ醉伏ス。友人ツレテ家ニ歸ル。棼  
夢ニミルヤウハ黒キ衣キタル使者兩人來テ。槐安國  
王ノ使者也。ムカヘタテマツルタメニ來ルト云フ。棼  
車ニノリ使者ト同道シ槐樹ノ本ニイタリ。穴ノ中ニ  
入大ナル城アリ。其門ニ大槐安國ト云フ額ヲカケリ  
一人ノ奏者出テ駙馬遠來ト云。駙馬トハ玉ノ壻トナ  
ルベキ者ヲ指テ云詞ナリ。即棼ヲ引テ殿上ニ入主人

伍子胥



全

又四



珠 呂



ノ玉トヲボレクテ。白衣アカキ冠ヲキタル人一人出  
 テマミユ。禁コレヲ禮拜ス王ノ曰我娘瑤芳ヲ君ニア  
 タフヘレトテ數十人ノ女音楽ヲ奏シ火ヲトモシ禁  
 ヲ導テ金翠ヲカサレル障子ヲ重々開一所ニイタル。  
 一人ノ女アリ金枝公主ト名ク其形天人ノゴトシ。金  
 枝公主ハ即瑤芳カコトナリ。禮ヲナレ契ヲムスブコ  
 ト日久レアルトキ王ノ曰我國ノ南柯郡政ヨカラズ  
 君ヲ其所ノ太守トナスベシ。即官人ニ命シ金玉錦ヲ  
 出レ供奉ヲツクロヒ車馬ヲト、ノヘ瑤芳ヲソヘテ

同道せしむ。其母モイデ、餞レ送ル。瑤芳ヲイミシメ  
テ曰淳干焚氣ツヨフレテ酒ヲコノム。汝其夫婦タリ  
ヨクヤワラカニシタガヒ。ツカヘヨト云既ニイ、ヲ  
ヘテ南柯郡ニイタル人々出テ迎フ。焚政ヨキニヨリ  
テ郡中治レリ。其間二十年ニ及ベリ。玉コレヲヨミシ  
テ焚ニ官位ヲ授五男二女ヲウメリ榮華ナラビナシ。  
此時瑤芳病死ス焚悲テ是ヲ盤龍岡ニ葬ルトキニ王  
モ夫人モ臣下ヲ召ツレ路次ノ行儀ヲ引ツクロヒテ  
來テ是ヲ弔焚既ニ王ノ壻ト成威勢甚盛ナリ。此時俄

二人ノ申ス子細アリテ。王焚ヲ故郷ヘカヘスベシ親  
類ニ對面シカルベシ。生ルトコロノ男女ハ我孫ノコ  
トナレバ心安カルベシト云テ。二人ノ使者ヲ指添ヘ  
焚ヲ送テ本ノ穴ヨリ出ツ。夢サメテ見レハ童子帟ヲ  
持テ庭ヲハキ。友人客人ハ榻ニ坐セリ。日イマダ暮ス  
焚客人トヲナジク彼槐樹ノ本ヲ尋見レバ。一ノ穴ア  
リ其内ヒロク。ホガラカニシテ人ノ出入スベキホド  
ナリ。其上ニ槐多城郭ノ形宮殿ノ體ニ似タリ。蟻多ア  
ルコト數ヲシラズ。其内ニ白キ羽赤キ頭ノ大蟻アリ。

卽槐安國王ナリ又一ノ穴ヲ通テ南へ指タル枝ノ方  
ニ蟻多卽南柯郡ナリ。又一ノ穴ワダカマリテ龍蛇ノ  
形ノゴトシ。高サ一尺バカリノ墳アリ卽盤龍岡ナリ。  
焚アヤレク思テ急ニ其穴ヲフサガシム。其夜風雨俄  
ニヲコル。夜アケテコレヲ見レハ蟻三十ウセテ行方  
ヲレラス

陳翰カ大槐宮  
記ニ見ヘタリ

呂球

呂球ト云人ハ東平ト云フ所ノ人ナリ。富人ニテ貌ウ  
ルハシ船ニノリテ曲阿湖ニイタル風ニ値テ行コト

アタハズ。船ヲマコモノ間ニトヅム一人ノワカキ女  
船ニノリ來テ菱ヲトルヲ見ルニ皆荷葉ヲ衣トス呂  
球問テ汝ハ人ニアラスヤ何ユヘニ荷葉ヲキルト云  
時ニ女ヲソル、色アリ答テ古人荷葉ヲサシテ裳ト  
スルヲ君ハ。シラスヤト云テ船ヲメグラレ棹ヲサ  
シサラントス。呂球イソギ弓ヲ引矢ヲハナツテコレ  
ヲ射殺ス。卽一ノ嶺ナリ其船ハ三十浮萍ヲアツメテ  
船ノ形ニツクレリ。扱又ムカヒノ岸ニ一人ノ老女ア  
リ呂球カ船ノスグルヲ見テ問ケルハ。君サキニ湖中

二テ菱ヲトル女ヲ見スヤト云。呂球ソノ女ハヤガテ  
我アトニアリト云テ又矢ヲハナツテ老女ヲ射ル。即  
古瀬也。呂球コノ二ツノ瀬ヲ得テ船ヨリアガル。其所  
ノ人皆申ケルハ此邊ニ菱ヲトル女アリ。其貌人ニス  
グレタル故ニ。ヨリク來テ人ト千ギリヲムスフコト  
多シ。今其瀬ノ化タル事ヲ知ルト云。

幽冥録ニ  
見タリ

偃王

徐國ノ王ノ宮女懷妊シテ卵ヲ生メリ。コレヲアヤシ  
ミ不吉ナリトシテ。水邊ニスツ一人ノ老母アリ。其家

ニ犬アリ。犬ノ名ヲ鵠倉ト云フ。水邊ニ出テ彼卵ヲク  
ワヘ來テ。老母ニ示ス。老母キドクノコトナリト思テ。  
アタ、メケレバ卵ヒラヒテ小兒アリ。ミサシク偃セ  
リ。骨ナクシテウツブセルユヘニ。偃ト名ク徐國ノ君  
コレヲ聞テ。コレヲ呼テソダテ養フ。成人シテ智惠ア  
リ。慈悲ノ心アリ。徐國ノ君位ヲ讓テ政ヲ行シム。即偃  
王ト名ク鵠倉病死セントスルトキ。俄ニ角ハヘテ九  
ノ尾アリ。元來龍ノ化シテ犬トナリタルヲ。偃王是  
ヲ埋ヲサム。後ノ世ニ狗龍ト號スト云リ。

事文類聚  
二載タリ

偃王ハ周穆王ノ時ニ當テ亂ヲ發ケ  
レハ穆王兵ヲツカハシコレヲ平ス

韋叔堅

桂陽太守韋叔堅年ワカキ時イマダ官位ニノボラス。  
家ニ犬アリ人ノゴーク立テユク。家人見テ凶事ナリ  
コロサント云。叔堅コノ犬メツラシ。人ノマ子ヲスル  
コト凶事ニアラスト云。其後叔堅冠ヲヌギテ樹ノ上  
ニカク。犬コレヲ戴テ走ル人ミナオドロキコロサン  
ト云フ。叔堅キヒテ犬アヤマリテ冠ニフレアタル。何  
ノ咎カアラント云フ。又アルトキ犬カマドノ前ニテ

火ヲタクマ子ヲス。人イヨクアヤシム叔堅見テ我家  
ノ人イマ。田ニイデ、耕作ス。犬其人ノ隙ナキラ見。火  
ヲタクナリト云テ。毎度アヤシマズカ、ルトコロニ。  
犬ホドナク自死スツ井ニタ、リナシ。叔堅果シテ高  
位ニノボル。風俗通ト云文ニ見ヘタリ。古人ノ詞ニ怪  
ヲ見テアヤシマサレバ。其怪ヲノツカラ止ト云リケ  
ニサモアルベシ

馬頭娘

蜀ノ國ノムカシ蚕叢ト云フ王アリ。五帝ノ内ノ少昊

馬頭娘



ノ時ニ當テ蜀ノ國ニ女アリ。其氏ヲ知ズ其父人ノタ  
メニトラヘラル。其家ニ馬アリ女其父ヲ思悲モノク  
ハズ。其母コレヲウレヘテ諸人ニ誓ケルハ。父ヲ得テ  
歸ラン者ニハ。コノ女ヲアタヘテ妻トセシメント云。  
彼馬コノ事ヲキヒテフルイ躍繩ヲ引キリ馳テイツ。  
日ヲヘテ父ノ所ヲ尋テ到リケレハ。父即馬ニノリテ  
復ルコノ馬。イナ、ヒテ物ヲクハズ。母前ノ誓ヲ以テ  
父ニカタル。父是ヲ聞テ入ニ誓テ馬ニ誓ハズ。如何ゾ  
人ヲ畜類ニアハスルコトアランヤ。縦令我苦ラスク

韓 朋



フ切アリ<sup>ハ</sup>誓<sup>チカ</sup>言<sup>ヒ</sup>ハタテガタシト云フ。馬ハナハダア  
ガキクルフ父怒<sup>イカ</sup>テコレヲ射<sup>イ</sup>殺ス。其皮<sup>クニ</sup>ヲハビテ庭ニ  
ハリツク。俄<sup>ニ</sup>風吹<sup>カ</sup>テ其皮ムクレアガリテカノ女ヲ卷<sup>マ</sup>  
テ何方ヘユクトモ知ス飛<sup>ヒ</sup>去<sup>ル</sup>。十日許<sup>ガ</sup>過<sup>ス</sup>テ皮ニタトビ  
來テ乘<sup>リ</sup>ノ木ノ上ニト<sup>マ</sup>マル。其女化<sup>シ</sup>テ蠶<sup>ノ</sup>トナリテ  
乘<sup>リ</sup>ノ葉<sup>ハ</sup>ヲ食<sup>ヒ</sup>絲<sup>ヲ</sup>ヲ吐<sup>キ</sup>イダス絲<sup>ヲ</sup>以<sup>テ</sup>絹<sup>ヲ</sup>ハルコト  
ノ始<sup>メ</sup>ナリ。或トキコノ女其馬ニ乘<sup>リ</sup>雲<sup>ヲ</sup>ヲ凌<sup>グ</sup>テ天ニノボ  
ル。相<sup>互</sup>從<sup>フ</sup>男女數十人アリ。父母ヲカヘリミテ我身<sup>ヲ</sup>義<sup>キ</sup>  
理<sup>ヲ</sup>忘<sup>ル</sup>レザルニヨリテ。天ヨリ命<sup>ジ</sup>テ天人トナス。必

ス心安ベシ重テ天降テ什那綿竹德陽三所ニスムベ  
シト云フ是ヨリ毎年蚕ライノル者四方ヨリ群聚ス  
其後所々ニ此女ノ像ヲ造馬ノ皮ヲ衣セテ馬頭旅ト  
名ク蜀ノ圖經

韓朋

韓朋カ妻ミメヨシ康王コレヲ奪イトル。韓朋大ニ恨  
トキロテ。王コレヲトラヘテイマシム。韓朋イヨク怒  
テ自害ス。彼妻ヒソカニ巴カ衣裳ノモロキヤウニ調  
テ。王ニ從ヒ高キ臺ニノボリ忽身ヲナグ。諸人驚テ衣

ヲ引テアゲントスレバ。衣千ギレテ臺ノ下ニヲキテ  
死ス。其帶ヲトリ見レバ我屍ヲ韓朋ト一所ニ埋ラレ  
シコトヲ願ト書付タリ。王甚イカリテ別ニ穴ヲホリ  
テ埋。夫婦ノ墳ニツ相望メリ。後程ナキニ梓木二ノ墳  
ノ上ニ生シ根ハ下ニ交枝ハ上ニ連ル。連理ノ木ト申  
ベシ又鴛鴦アリテ。ソノ木ニ飛入り朝暮常ニナキカ  
ナシム。時ノ人コノ鳥ハ韓朋夫婦ガ魂魄ノ化シタル  
ナリト云リ

元緒

搜神記ニ見タリ韓朋  
又ハ韓憑トモ號ス



吳王孫權ゴウワシクンカ時トキニ永康エイカウト云所ノ人山ニ入テ一ツノ大龜ダイカメヲ見テトラヘシバリテ持テ歸ル龜俄ニ人ノモノイフゴトクニテアレキ時ニ出合テ入ノタメニトラヘラルト云フ諸人キヒテコレヲ怪ムコレヲ吳王ニダテマツラントテ船ニノセテユクトキ越里ト云フ所ニ止ル船ヲ大ナル乗樹ノ本ニツナグ其夜来ノ精聲アリテ龜ノ名ヲ元緒ト呼テ汝何故ニカクノゴトクナルヤト問フ龜答テ我トラヘツナガレテマサニ烹殺レントス然トモ何程ノ山ノ薪ヲキリテニル也我

ヲ殺スコトアタハジト云フ来ノ日孫權カ臣下ニ諸葛恪ト云フ人アリ博學ニノ物ヲヨク知ル必我ヲクルレムルコトナカレト云フ龜聞テ多言シテ若モレハ汝ガ身ニ災ヲヨハント云フ既ニシテ閑ニヲトナシ都ニイタリテ孫權ニ進上孫權是ヲ大ナル鼎ニ入テ煮サシム多ノ薪ヲ燒テニレトモ龜本ノゴトシ諸葛恪ヲ呼デコレヲ問諸葛恪コレ八年久キ来ノ木ヲ薪トシテ烹殺スベシト云フ時ニ龜ヲタテマツル者先ニ龜ト来ト問答スルコトヲ言上ス孫權即ち彼来

ラキリヨセ龜ヲ煮ルトキヤガテタバレテ煮殺サル  
コレニ依テ龜ヲ煮ルニハ來ノ薪ヲ用ヒ又龜ヲ名テ  
元緒ト云ナリ 興苑ニ見タリ

歐陽純

梁ノ武帝ノ大同年中ノ末ニ歐陽純兵ヲ率テ南方へ  
赴キ長樂ト云フ所ニ至リ亂ヲ平テ深險阻ニ入ル純  
カ妻色白シテカホヨシ其所ノ人ノ曰君何ユヘニ美  
女ヲ携テコヽニ到ルヤ此地ニ鬼神アリ必ス美女ヲ  
盜ム往來ノ人ニヌカレガタシ能マモルベシト云フ

純キヒテ疑シキナガラモ夜ニ入テ兵ヲヨビテ家ヲ  
トリマワシ其女ヲ奥深クカクシテ下女十餘人ヲナ  
ラベ番トス其夜事ナシ明夜ニ及テ風吹テ天クモリ  
夜半スギテレヅマル守者クタビレテ假寐ス忽物ニ  
ヲソワルヽ如クニレテ目サムレバ女既ニ見ヘス門  
戸ノ扁ハモトノ如クニレテ出ル所ヲ知ルコトナシ  
門外チカク深山ナレバ尋ヌベキヤウナシ夜明テ後  
モ其跡ナシ純甚イタミ怒テ女ヲ得ズハ歸ルベカラ  
スト誓イツワリテ病アリト云テ軍兵ヲトゞメ毎日

四方ヲ尋嶺ヲ越溪ヲ傳險ヲ凌テ是ヲモトム。月ヲ經  
テ百里ハカリノ外ニテ叢ノ上ニテ彼女ノ履一ツヲ  
得タリ。雨露ニヌレタリトイヘ。履ノ形疑ナシ。紇彌  
カナシ三彌尋又健ナル兵三十人ヲエラヒ。武具ヲ持  
世糧ヲ負深山ニワケ入ル十日餘アリテ。我家ノ外ニ  
百里計トヲボレキ所ニテ。南ニ當テ一ノ山アリ高ク  
シゲレリ其下ニ溪水アリテ流廻ル木ヲ編連テ巖竹  
ノ間ヲ渡ル時ニ女ノ笑ヒモノ云聲ハルカニ聞ユ苔  
ヲナテ葛ヲ引テ上レバ。アヤシキ木。メヅラシキ花ア

リ緑ノ苔盛ニ生ジテ青コト毛種ヲ敷カ如シ。東ニ向  
テ石門アリ女數十人ウツクシキ衣裳ヲキテ遊ビ戯  
レ歌ウタフ。人ヲ見テ驚ク氣色ナク立ト、マリテ。何  
ユヘニ來ルヤト云フ。紇ツブサニ其故ヲカタル彼女  
互ヒニ。相見テ嘆テ其婦人ハコ、ニ來テ既ニ三月過  
タリ。今病ニ伏テ床ニアリ導テ見セシメント云テ。其  
門ニ入ル木ヲ以テトビラトス其中廣シテ堂ノ如十  
ル所アリ床ノ上ニ綿ヲレク紇カ妻ハ石ノ榻ノ上ニ  
伏セリムシロヲ重子茵ヲ重子サマノ食物充満紇

純陽歐



千カツキ見ルトキ妻一目ニテ手ヲ振テ急ギノケト  
 云フ。其外ノ諸女申ケルハ我ヲ君ノ妻トコ、ニアリ。  
 其久キモノハ十年ニ及モアリ此鬼神ハヨク人ヲ殺  
 ス。百人兵具ヲ帶シ來ルト云厄制スルコトアタハジ。  
 鬼神今他行セリ其カヘラザル前ニハヤクノクベレ  
 モシ美酒ニ解犬十疋麻數十介アラバ我ヲ君ト相謀  
 テ鬼神ヲ殺サン重テ來ラン時ハ晝ヨリ後ニイタル  
 ベシ。早イタルヲナカレ今ヨリ十日ヲ以テ日限トス  
 ト。約束シ速ニカヘラシム純陽聞テ急ギ退出即チ酒ト

卷一

又十九

歐陽純



犬ト麻トヲ得テ約束ノゴトクニユク。先ノ諸婦人ヒ  
 ソカニ出テ語りケルハ。鬼神酒ヲ好ム必ス酔トキハ。  
 己ガチカラヲタメサントテ。五色ノ練ヲ以テ手足ヲ  
 床ニ結付シム。一度ニヲドレハ絹皆チギル若ニ幅ヲ  
 合テ縛ルトキハトケガタシ。今絹ノ中へ麻ヲ入レ繩  
 トシテコレヲ縛ラハ。鬼神ノカニテモ解ベカラス彼  
 一身ミナ鐵ノゴトシ。只臍下五六寸常ニコレヲオホ  
 ヒカクス。此所武具ヲ用ユベシト純ニ云ヒ聞ス。又其  
 側ノ一ツノ巖ヲ指テ是ハ鬼神ノ食物ヲオサムル所

ナリ。此トコロニカクレテ鬼神ノカヘルヲ伺ヒ待ベ  
シ。酒ヲ花ノ下ニ置犬ヲハ林中ノ所々ニ置ベシ。時  
分ヲ待テマ子カハ出ヨト云フ。純其敵ノゴトク息ヲ  
シヅメテ相マツ。申刻バカリニ練ノ如ナルモノ飛來  
テ。洞ノ裏ニ入ル暫アリテウルハレキ。鬚アル男長六  
尺餘リ白キ緞ヲ衣杖ヲツヒテ數多ノ女ヲ引具レテ  
イヅ。犬ヲ見テヲドリカ、リテ是ヲトラヘテヒキサ  
キ食フ。飽マデ食フトキニ諸女我サキニト酒ヲス、  
ム。歡ビ戯ル、コト甚レ漸ク飲コト六七斗バカリニ

テ。醉ケレバ諸女其手ヲ引テ洞ニ入ル歡ビ笑フ聲洞  
ノ外ヘキコユ。ヤ、アリテ婦人出テ純ヲ招ク純スナ  
ハチ具ヲ持テ入ル。大ナル白猿ヲ見ル其四足床ニツ  
ナガレタリ。人ヲ見テ繩ヲトカントスレ。正解アアタ  
ハズ。其眼ヒカリテ電ノ如シ。純カ其競カ、リテコレ  
ヲ伐ツ。鐵石ニアタルガ如シ。戈ヲ以テ其臍ノ下ヲサ  
ス。及深ク入テ血ノ出ル一流ル、ガ如シ。即大ニサケ  
ビ歎テ云ク天ノ我ヲコロセルナリ。豈汝ガ力ノ及ブ  
トコロナランヤ。汝ガ妻既ニハラメリ其子ヲ殺スコ



トナカレ。賢王ニ遇テ必其家ヲ大ニセント云ヒ畢テ  
死ス。終其アル所ノ財物ヲ探リ求ルニ世間ニ希ナル  
物マデモアラスト云フナシ。寶劍ニ振名香數斛アリ  
盗トル所ノ女三十人ミナカホヨシ。總ジテ若女ツカ  
マレテアル者十年スギテ色衰ルトキハ行方ヲシラ  
ズ。コトニアヤレキフナリ。毎朝手アラヒ帽子ヲカブ  
リ白キ衣ヲ著白キ羅ヲウハヲソヒニシ。寒ヲモ知ズ  
身ノ白毛ナガサ五六寸餘アリ。又古文ノゴトクナル  
字木札ヲヨム何事ト云フヲシラス。ヨミヲワリ石ノ

上ニサレヲク。又劍ヲ舞シ身ヲ振コト電光ノ如ク。其  
影マロキフ月ノ如シ定レル食物ナシ。常ニ菓ヲ食尤  
モ犬ヲクラフ事ヲ好ム。ソノ血ヲ吸テコボサズ午ノ  
時過テ他山へ飛行半日ノ間ニ往來スルヲ數千里晚  
ニヲヨビテ必ス歸ル。日々カクノゴトシ求ル所カナ  
ラス得スト云フナシ。一夕ニ數多ノ諸女ト通シ戯ル  
コト多シトイヘドモ。殘ラス眠ルコトモナク物云コ  
トモ懇ナリシカレドモ其形ハ大ナル猿也。此物既ニ  
千年ノ封命ニテ今茲死ナント云フヲカ子テ知トナ

怪談全書卷之一終

ン純財物珍物諸女ヲトリテカヘル其内ニ己ガ妻ナ  
リト知ルモノアルニハコレヲカヘシアタフ純ガ妻  
明年子ヲウメリ其形猿ニ似タリ梁ノ世ホロフルト  
キニ陳ノ武帝兵ヲ以テ純ヲ殺ス純平生江總ト云人  
相伴フ故ニ純ガ子ヲカクシヤレナヒテ難ニマヌカ  
ル純ガ子サガレクシテ後ニ成人シ文字ヲ知リヨク  
物ヲカキテ其名ヲアラハス

江總カ白猿  
傳ニ載タリ



